

# 地域貢献と世代間交流を通じた 農業協同組合の未来づくり

地域住民レストラン（子ども食堂）

JAいなば 営農経済部旅行センター  
清野 香織



JAとは・・・

相互扶助の精神のもとに農家の営農と暮らしを守り向上させながら、よりよい地域社会を築くことを目的に組織された協同組合

**一人はみんなのために、  
みんなは一人のために**

これは世界の協同組合の合い言葉。



※「協同組合において共通の利益を形にするという思想と実践」がユネスコ無形登録文化遺産へ登録

**JAいなば経営理念：**  
組合員や利用者が必要とされ続けるJAであり続けることを目指します

## JAいなばSWOT分析

### S:強み

- \* 地域と密接な関係
- \* 女性部と青年部の存在

### W:弱み

- \* 職員と組合員の交流の減少
- \* 次世代とのつながり希薄

### O:機会

- \* 新たな連携と協力

### T:脅威

- \* 人口減少と高齢化
- \* 次世代の農業への関心低下

必要とされるJAになっていないのでは？

3

## 高岡市福岡町人口推移

- ◆2000年 13,498人
- ◆2010年 13,150人
- ◆2020年 12,537人
- ◆2024年 11,813人

## 小矢部市人口推移

- ◆2000年 34,625人
- ◆2010年 32,067人
- ◆2020年 29,224人
- ◆2024年 27,617人

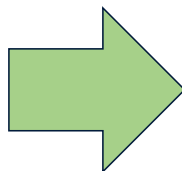
20年前より

約2割減

(△9,000人)

## あるべき姿・なりたい姿

- ◆直営農産物直売所で農家収入増
- ◆組合員数が増える
- ◆利用者が増え、職員がやりがいを感じられる
- ◆次世代とつながる活動がある
- ◆若者が地域や農業に興味関心を持ち地域や農業を支えたいと感じている



## 現状

- 直営農産物直売所はない
- 減少傾向
- 利用者減少傾向
- つながりが少ない
- 興味関心が薄い

**⇒現状とのギャップがある！**

5

## ギャップを埋めるための取り組み案

取り組み	SWOT分析	実現性	拡大性	費用
<b>1.就農者を増やす</b> ・とやま農業未来カレッジ ・次世代へのアプローチ ・高校・大学等新規就農支援	弱み (後継者不足) 脅威 (人口減少)	△ 自治体の協力要	○ 事業拡大	× 募集費用高額
<b>2.農産物直売所</b> ・売れる農産物への意欲 ・新たな交流の場 ・新規顧客獲得	機会 (新たな連携と協力)	△ 新規参入困難	△ 競合他社との差別化必要	× 施設改修費用等高額
<b>3.子ども食堂</b> ・地元農産物を利用 ・食育や交流機会創出	強み (地域に密接な関係、女性部等連携) 弱みと脅威を解決	○ 成功事例多数	○ 生産者,市民子ども,職員	○ 県の補助有 初期費用少ない

6

## 女性正職員へのアンケート

### 問1.地元農産物を使って組合員や地域住民と交流するメリットはあると思いますか？

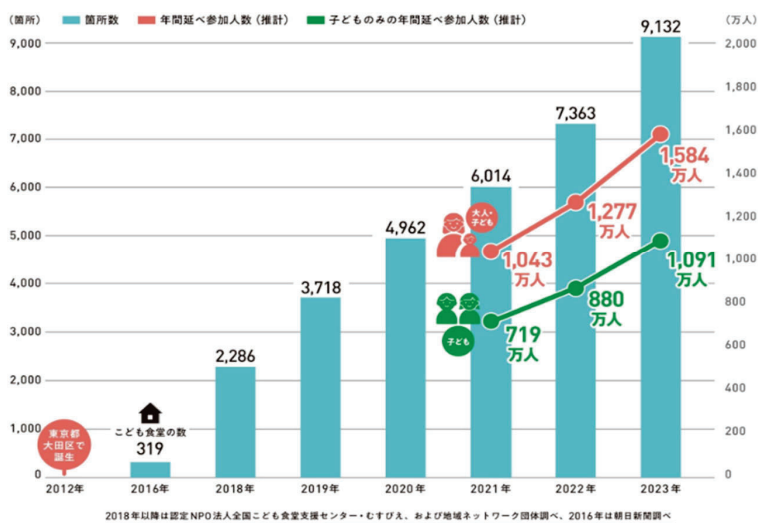
- 約90%があると回答
- 地域農業を知ってもらい、地産地消を含め地域活性化につながる
- JAへの認知や理解、利用増加につながるので積極的な交流の必要性を感じる
- 今後園芸に力を入れていくことも含めて農産物を使った交流があるとよい

### 問2.女性が主体的に仕事を取り組むメリットは？

- 気配り、細やかさ、丁寧な対応ができる
- 高いコミュニケーションスキル
- 生活に密着した発想等、女性の目線で進めていける

7

## 子ども食堂って？



誰でも利用できる

地域交流の場所

人とのつながり

参考資料：認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえHP

8

# 市内の成功例

## 大空こどもひろば（小矢部市）

みんなおいで！

**大空こどもひろば**  
(子ども食堂)

みんなで楽しく食べよう！あそぼう！

毎月1回 日曜日  
12:00～14:00  
小矢部市民交流プラザ

対象者  
高校生までの子どもとその家族

★食事をしたり遊んだりする無料の場です。  
★無料、予約制。

「大空こどもひろば」は、毎月一回開催しています。食事をするだけではなく、遊び場もあります。大人から子どもまであたたかい雰囲気の中で、子どもたちの健やかな成長を支えたいと願っています。ご協力、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

### 「大空へ飛べ」の主な活動

**コンサート・ボランティア**

みんなで創り上げる楽しさを味わい仲間づくりを進めます！

●コンサートの開催（居場所や出番をつくる）  
●練習会の開催  
・歌、ダンス、手話、本の読み聞かせ、ゲーム等  
・メンバー同士の交流  
【高岡練習会場】 高岡市ふれあい福祉センター  
【小矢部練習会場】 小矢部市通生公民館

2018年9月に高岡文化ホールで開催したコンサートの様子

**みんなのために活動します！**

●被災地を訪問してのコンサート  
●病院、福祉施設でのコンサート  
●学校や保育園での親子活動サポート  
●街市会場等で欲しい品物ながらの募金活動

2018年9月に開催した宮城県でのボランティアコンサートの様子

★コンサートなどの活動にメンバーとして参加する際には、専業主婦（保護代等）が必須となります。

### 子どもの居場所

**子どもたちの居場所づくりをします！**

対象者：学校以外に居場所を必要としている子ども（小学校3年生～中学校3年生）  
できること：ボードゲーム等の室内遊びや野外活動  
学習活動(スタッフがアドバイスします。)  
実施日：相談の上決めます。  
場 所：「大空子どもの家」他

**大空こどもひろば（子ども食堂）**

対象者：高校生までの子どもとその家族、支援者  
内 容：食事をしたり、遊んだりする無料の場を開いています。参加者は、自由に過ごします。  
実施日：月1回 12時～14時（予約が必要）  
場 所：小矢部市民交流プラザ

### 学習サポート

**一人ひとりに合った学びを、一緒に考えサポートします！**

内 容：子どもの実態に合わせて、基礎学力の定着を目指します。  
（ひとり親家庭や生活困窮家庭の子どもを対象）  
※この活動は、高岡市、小矢部市の委託を受けています。

【高岡】  
実施日：毎週火曜日  
時 間：18時30分～20時30分  
場 所：高岡市博労公民館  
対 象：小学校1年～中学校3年

【小矢部】  
実施日：毎週木曜日  
時 間：18時30分～20時30分  
場 所：小矢部市民交流プラザ  
対 象：小学校3年～中学校3年

**相談**

子ども・保護者の心配ごとを聞きます！  
○定期的に「大空子育てカフェ」を実施します。  
○個別の相談も、随時行います。

★芭蕉所学習支援に参加される際には、親子の面談を行います。  
★相談には、元教員やカウンセラー、障がい児・者の親の会のお世話をしている人などが対応します。

NPO法人大空へ飛べHPより

## 「大空こどもひろば」（子ども食堂）

- ・ スタッフ：約20名
- ・ 利用者数：平均90名
- ・ 参加方法：予約制（フードロス防止）
- ・ 費 用：無料（大人・子ども）
- ・ 日 時：毎月1回日曜開催  
12：00～14：00
- ・ 場 所：小矢部市民交流プラザ
- ・ 年間費用：40万円
- ・ 食堂のほかに遊べる部屋（1～2室）  
オセロ、囲碁等のゲーム  
子育て相談等  
自由に過ごせる場所の提供



ある日の献立  
ドライカレー・大学芋  
フルーツ・ドリンクバー

## 概要

# 地元農産物を使った子ども食堂 「(仮)いなっち食堂」

JAいなば  
マスコットキャラクター



対象者	地域住民（子どもと保護者等）
運営者	女性部、青年部、JA職員
日時	毎月1回土曜 11:30~13:30
内容	地元農産物の食事提供+各種イベント等
場所	農業創造センター
参加費	子ども：無料 大人：300円
参加方法	事前予約制（食品ロス防止）
広報活動	広報誌、アンパンマンこどもクラブ会報
	市内保育所、学校掲示板等活用
経費	青年部、農家組合員等から農産物調達
	他調味料、食材等約1~2万円×12か月

11

**集客見込み**  
約50名/1回

### 費用

初期費用補助金 10~20万円  
年間運営補助 3~6万円  
JAから女性部へ活動への助成金

### 協力体制

地元農業者、団体等への協力依頼  
自治体・団体・企業等のバックアップ

小学校児童数一覧表(令和6年5月1日現在)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
石動小学校	57	51	66	61	54	56	345
大谷小学校	43	55	60	57	51	57	323
東部小学校	16	9	19	11	11	20	86
蟹谷小学校	24	25	27	30	28	31	165
津沢小学校	28	32	33	31	49	40	213
合計	168	172	205	190	193	204	1,132

小矢部市HPより

今年もスターバックスの「Be a Santa ドネーションプログラム」がはじまりました



「Be a Santa ドネーションプログラム」は、12月1日より開始されます。このプログラムを通じて、子どもたちに必要な物資を届けることができます。詳しくは、スターバックスのウェブサイトをご覧ください。



12

## 各業務割り振り

※代表者：女性部部长

### 運営

- JA女性部（運営主体）
- JA職員（補助）
- 厚生センター（衛生管理助言）

### 調理・配膳

- 女性部員等（調理・配膳業務）
- 栄養士（調理助言）

### 食材調達 農体験

- JA青年部・営農指導員等（全担当）

13

## 計画スケジュール

立上げ  
2025.1～

- 女性部・青年部・農業者へ活動趣旨説明
- 子どもホットサロンネットワークへ登録し、運営方法検討

試験的開催  
2025.4～

- 補助金申請・準備
- 年間4～5回開催（開催→反省→検証→改善）

通年開催  
2026.4～

- 毎月1回開催
- イベント等と共催

14

あるべき姿・なりたい姿へ

地域交流が増える  
次世代とのつながりが生まれる  
地域が元気になる



必要とされるJAいなばへ

